



令和3年7月12日
令和3年度学校だより NO.15②
加古川市立平荘小学校

平荘っ子のみなさん まちがいを恐れないで！

1学期も残すところわずかとなりました。

教室では、子どもたちが、最後の追い上げをしています。

夏休みに向けて、新しい単元の勉強を進めたり、復習をしたり、テストの直しをしたりしています。

教室からは、「まちがってもいいですよ。自分の意見をいみましょう。」という先生の声が聞こえてくることがあります。

6月20日(日)の神戸新聞に、『教室はまちがうところだ』の見出しで記事が掲載されていました。

私も担任をしているときには、よくこの『教室はまちがうところだ』の話を子どもたちにしたものです。

右は、蒔田晋治・作、長谷川知子・絵の『教室はまちがうところだ』の絵本です。新聞の記事にも、この絵本の一部が紹介されていました。



『 _____

まちがった意見をまちがった答えを
ああじゃないかこうじゃないかと
みんなで出し合い言ひあうなかでだ
ほんとうのものをみつけていくのだ
そうしてみんなで伸びていくのだ
_____』

こういう勉強の仕方をしながら、みんな
でどんどん力をつけていってほしい
です。

また、まちがいを一緒に考えてくれる
仲間存在は、本当に心強いです。
そういうクラスをみんなで作っていき
きましょう。

昨年度から新しい学習指導要領がスタートしました。そこでも、『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善について取り上げられています。加古川市でも、藤村宣之教授（東京大学大学院）の理念である『協同的探究学習』による授業改善を行い、児童の「わかる学力」（予測困難な時代に主体的に対応できる思考力・判断力・表現力等）の育成を図っているところです。『協同的探究学習』を進めながら、授業を通じて人間関係づくりを行い、子どもたちの自己肯定感の育成と他者理解の深まりを介して、子どもたちにとって、学校が安心できる居場所となる授業づくりを推進しています。

平荘っ子のみなさん、まちがいを恐れず、仲間と共に学習をし、
4月より5月、5月より6月・・・、1学期より2学期、2学期
より3学期と、自分の力をどんどん伸ばし、温かいクラスをつく
ていきましょう。

1学期も残すところ8日間、充実した学校生活を過ごしましょう。

絵本『教室はまちがう
ところだ』の一部

まちがうことをおそれちゃいけない
まちがったものをわらっちゃいけない
まちがった意見をまちがった答えを
ああじゃないかこうじゃないかと
みんなで出し合い言ひあうなかでだ
ほんとうのものをみつけていくのだ
そうしてみんなで伸びていくのだ

(中略)

はじめからうまいこと言えるはずないんだ
はじめから答えがあたるはずないんだ

(中略)

まちがったってだれかがよ
なおしてくれるし教えてくれる
困ったときには先生が
ない知恵しぼって教えるで
そんな教室作ろうやあ



令和6年4月1日開校の両荘地区義務教育学校（仮称）に向けて

令和6年4月1日に、上荘小学校、両荘中学校と本校とが統合され、両荘地区義務教育学校（仮称）が設立されます。

令和3年7月5日で、本校閉校（令和6年3月31日）まで、あと1000日となりました。

本校は、今年度、129周年を迎えます。明治26年（1893年）の平荘尋常小学校がこの平荘町山角に産声を上げて以来、学校教育をはじめ、文化的活動、地域活動の拠点として大きな使命を果たしてきました。

閉校するにあたり、閉校することの重さ、地域の方々や卒業生、保護者のみなさんの思いを十分に受け止めながら、残された期間を全教職員が一丸となって、学校教育目標（『自ら学び続ける 心豊かな平荘っ子の育成一人間尊重の教育を基盤にすえてー』）の達成に向けて、そして、安心・安全な学校を目指して取り組んでいきます。

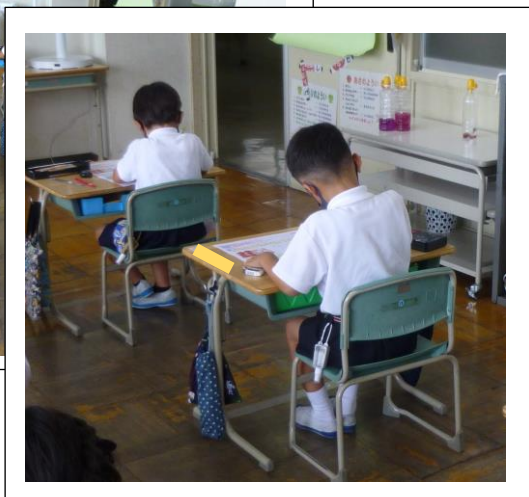
子どもたちが「平荘小学校に通えてよかった」と思える学校を目指し、今後とも、学校、家庭、地域社会が連携しながら、子どもたちに関われますよう、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

※開校準備委員会につきましては、加古川市教育委員会HPをご覧ください。

《1年生の学習の様子》



算数のテストをしています。どの子どもとてもいい姿勢で学習ができています。『ぐー』『ぺた』『ぴん』の約束がよく守られています。



《6年生の学習の様子》



《7月の学級園の様子》



どの学年の植物、子どもたちが毎朝お世話をし、元気に大きく育っています。



6年生は、総合的な学習で、クロームブックを使って、調べ活動をしたり、まとめをしたりしています。